

着席

- 基礎ゼミのクラス毎に分かれて着席
- 再履修の人は再履修グループ

情報科学演習1

未来のコミュニケーションを考える
グループワーク

配布物

- ワークシート2枚
- 各グループ1人ずつ挙手して受け取ること
- 受け取ったらグループのメンバーを記入

スケジュール

8:50～ 9:05	15分	最初の説明
9:05～ 9:40	35分	グループワーク
9:40～10:10	各グループ 2～3分	発表
10:10～10:20	10分	最後の説明

グループワークの内容

ステップ1:

コミュニケーション方法を思いつく限り列挙

ステップ2:

ステップ1で列挙したコミュニケーション方法の
特徴を2次元の図にまとめる

ステップ3:

ステップ2で作った図を見ながら
「未来のコミュニケーション」を想像する

2次元の図にまとめる

1. 2つの軸を考える(縦軸と横軸)

– なんでもいい！

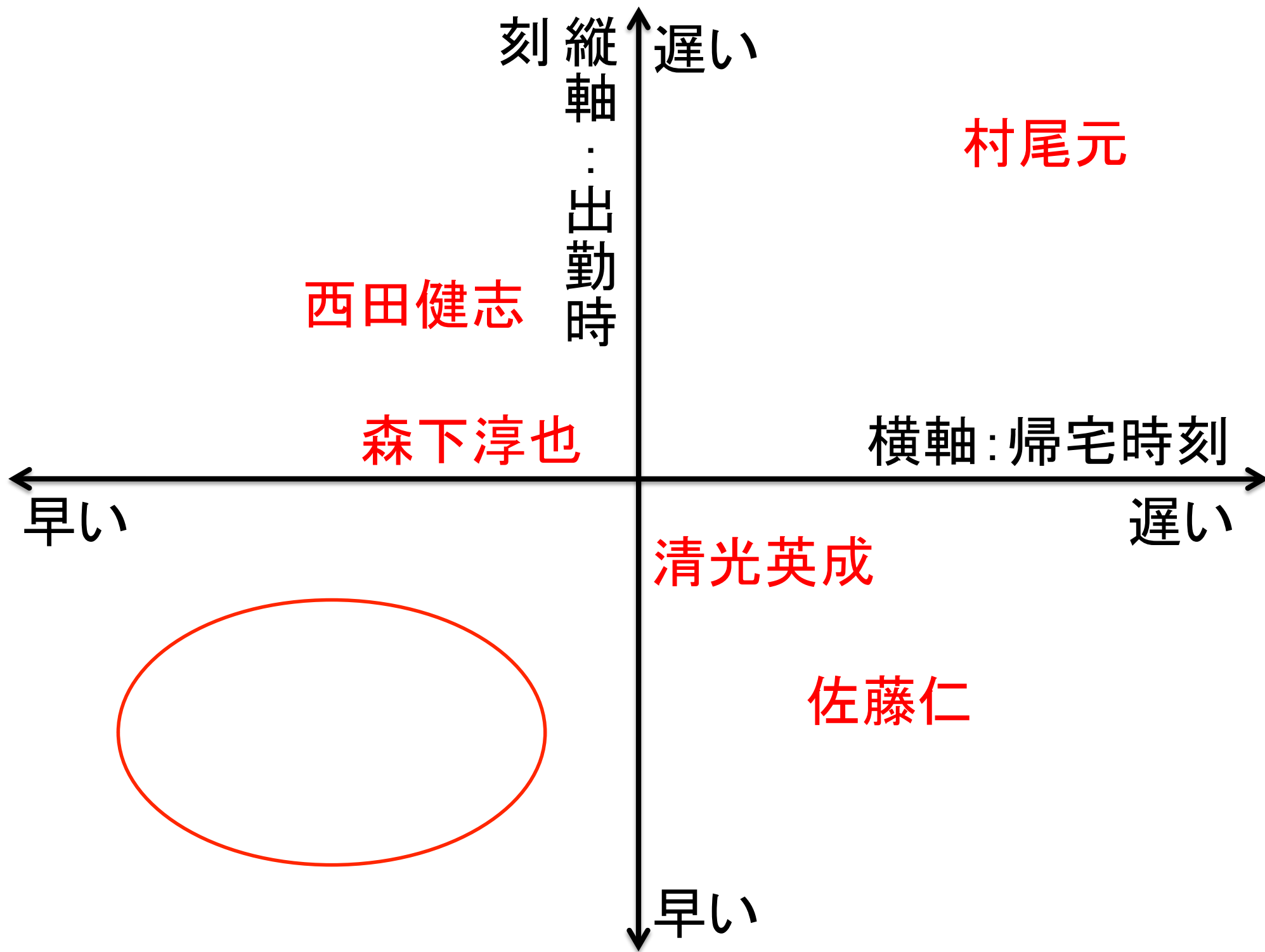
2. その軸に従って配置する

3. できあがった図を観察する

• 例(次のページ)

– 情報科学演習1を担当している先生を分類

– この図はフィクションです！



発表

- 作成した図を見せながら説明してください
- 未来のコミュニケーションをオチにすると、うまくまとまるかもしれません
- 2枚のワークシートは発表時に提出です

では、やってみましょう！

- 時間配分の目安
- 9:05～9:15 ステップ1(列挙)
- 9:15～9:30 ステップ2(図を作る)
- 9:30～9:40 ステップ3 & 発表準備
 - オチを考える(未来のコミュニケーション)
 - 発表者を決める

まとめ

情報科学演習1とコミュニケーション

- この授業で学ぶのは
「コミュニケーション方法」
- Twitter, Excel, PowerPoint, Word
- どうしたらわかりやすく伝えられるか、
よく考えることが大事

情報可視化(視覚化)

- 情報をわかりやすく視覚表現すること
- 情報の分析にも役立つ
 - 例: グラフ → データの傾向
 - 例: グループワークで作った図
→ 未来のコミュニケーション
- インタラクティブな可視化の例
mentionmap
<http://apps.asterisq.com/mentionmap/>

特徴の分析

- 本当にそのような特徴があるだろうか？

心理学・社会学実験

シミュレーション実験

- 特徴がわかると役に立つ

- 人の特徴(性格、好み・・・)

- 物の特徴(レストラン、曲・・・)

情報推薦・コンピュータを使って特徴を発見

分野横断的なテーマ

- わかりやすく伝えるには？
 - 言語
 - コミュニケーション方法
 - 可視化方法
- コミュニケーションの特徴を分析する
 - 心理学実験・社会学実験
 - シミュレーション実験
- コンピュータを使って特徴を発見する